

平成30年度 自己評価書

学校名	和歌山市立和歌浦小学校
校長氏名	福田 佳武
作成日	平成31年(2019年)2月15日

1 教育目標

健康なからだ、確かな考えと、豊かな心をもち意欲的に活動する子供を育てる

2 本年度の取組についての評価

	地域とともにある学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ○生活科や総合的な学習の時間を活用し、地域の文化・人材等を活用するネットワークづくりに取り組む。 ○地域先達事業、図書ボランティアの方々と連携し開かれた学校づくりに努める。 ○学校運営協議会と連携し、よりよい教育活動につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつや「早ね 早おき 朝ごはん」に進んで取り組む態度を育成する。 ○読書活動の充実をはかる。 ○道徳の指導を充実させ、児童の実態に応じた判断力・行動力を養う。 ○特別支援教育の推進に努める。 ○教育活動全般を通して、相手の立場に立って考えられる子供を作っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分の考えや思いをしっかり表現できる」魅力ある授業づくりをめざす。 ○指導方法の工夫・改善をはかるため、教職員の研修の場を大切にする。 ○基礎学力の向上のため和歌浦タイムの充実を図る。 ○「家庭学習の手引き」を保護者に配布し、家庭学習の大切さを呼びかけると共に、自主学習に家庭の協力を仰ぐ。

取組の状況【D】	<p>学校だよりを校区に回覧することを通して、本校教育への理解と協力をお願いした。</p> <p>地域先達事業を進める中で、民生委員のみなさんに学校の様子を知ってもらった。</p> <p>また、学校運営協議会委員会からの提言を受け、学校改善に取り組んだ。</p>	<p>学校だより等であいさつや「早ね 早おき 朝ごはん」などの基本的な生活習慣について家庭・保護者への啓発にも努力した。</p> <p>道徳の時間の充実のため、教材の工夫や整備に努めた。</p> <p>みんなのつどい、集会発表、交流学习、学年別人権集会などあらゆる機会を通して人権意識の向上をはかった。</p>	<p>自ら考え仲間とともに学びを深める授業を全校で試みた。</p> <p>教職員の実践力の向上のため、一人一授業提案を行い、授業研究を軸に様々な研修を計画的に実施した。</p> <p>学力の定着のため、家庭・保護者との連携を密にし、自主学習ウイークを利用して子供達が課題意識を持って学習にとりくめるように啓発を図った。</p>
（評価結果【C】）	<p>各学年の集会発表には大勢の方が来校していただいた。また、育友会主催の「子供まつり」は、全校のほとんどの児童が集い、保護者・地域の方々の協力で楽しい取り組みとなった。</p> <p>民生児童委員さんの協力を得て、低学年の児童への学習補充とふれあいの会ができてとてもよかった。前年度より内容が充実してきた。</p>	<p>教職員とともに、朝の掃除に毎日取り組む中で、子供たちに学校をきれいにしようとする心が育ちつつある。ただ、あいさつは学校評価アンケートで児童は2割近く、保護者は4割近くが否定的な回答で、課題となっている。</p> <p>道徳は、授業提案や先進校の取り組み実践を聞く中で、授業改善と教材作りも進んだ。</p>	<p>全教職員が提案授業を行うことで、学校全体としての授業作りが進められた。どの子も自分の持てる力を発揮し、仲間とともに課題に対して取り組む姿勢が見られた。</p> <p>和歌浦タイムではどの子も課された学習課題に真剣に取り組んでいた。まだまだ、基礎的な学力が十分についていない子がいるため、子に応じた指導が必要に思う。また、保護者の協力を今後も訴えていく。</p>
改善方法【A】	<p>子供達が地域の中で育っていくために、地域の方々と身近にふれあえる機会をさらに多くつくとともに、地域ボランティアの方ももっと増やし、さらなる教育活動の充実につなげたい。また、本校教育を保護者や地域の方々にわかりやすく発信し、さらなる理解と支援をいただきたい。地域先達事業は継続してすすめていきたい。</p>	<p>全校集会は今まで通り、年一回の学年発表を行い、子供たちが学校をよくしようとする気持ちを深めていきたい。</p> <p>児童会のあいさつ活動を継続するとともに、教職員が意識してあいさつするよう努めていく。携帯やスマホの使い方についても機会をもち保護者、児童に啓蒙していく。</p> <p>今後とも道徳教育の充実を進める。</p>	<p>「自ら考え、仲間とともに学びを深める授業」の創造は継続して行っていく。子供達が自ら課題を見つけて学習に取り組む「自主学習」は今後も進めていく。ただ、自主学習に消極的な子供への取り組みせ方は教職員で論議していく。</p> <p>それとともに、基礎学力の定着のためのプリント学習も和歌浦タイム等を利用して進めていきたい。</p>

3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の校内支援体制の整備に努力した。和歌山大学から特別支援教育専攻科学生の協力を得て、校内支援体制が徐々に進展しつつある。ケース会議や事例研修会を開くことで、教師個々の力量向上に努めた。 ・不登校児の早期発見・早期対応に努めたい。こども総合支援センターや児童相談所等関係機関と連携して取り組みを進めていく。今後も、教育相談委員会を定期的に関き、組織的に対応できるような取り組みを進めたい。 ・子供たちに、豊かな自然と歴史・文化に恵まれた和歌浦を誇りに思えるよう地域に根ざした教育活動を展開する。 ・児童、保護者、教職員の防災意識を高めるとともに、防災学習や避難訓練を通して、防災教育や防災管理の充実さらに取り組みたい。 ・「わかうら見守り隊」の方々と連携をはかり、安心・安全な学校生活・地域生活に向けてのさらなる取り組みを進めたい。
